

だの、そんなら此香で此金を取らう、斯うは逃めへ、先ナンダく、どうするのだ、二三手過た事を仕直すせへ、此方の駒まで動して、大きにお世話な事だ、一人で兩方指すの、アレ御覽なさいあの通りだ、若殿様のお對手になるやうだ、夫でよしか、何でも佛のいふ通りにしてやらア、斯う氣の能將基だ物を、名人だてナ、ソレ、よくは引たくれんげの皮財布と責るだ、後おつに責よせたナ、待よ、爰が思案のあとや先ツ、ハテナ爰が思案のあとや先ツ、責られてはチト辟易だて、ハテこいつはチト辟易仕るて、ハテお責なさるか、おまへがたも精出して、お責なさるが身のお勤ツ、先勤といふ字に二ツはない、テテン、源ア、そこへ逃ちやア損だ、其隣へ逃て、むだ駒を遣はせるがい、先能く口を出すナア、太ア能手があるツ、能手があれば大橋もありやすツ、源ムフム目が暗で居るから見えねへ、先だまつてくたばれ、何にもいふなツ、後何にもいふな人ではないはツ、先ヤ何にもいふな人ではないはツ、ソレどこへ行く、後爰へ逃る、源ア、わるい、そう逃ちやアをへねへ、太ソレひたりだ、先ア、よんやらまかせろさと、後ア、よんやらまかせろさと、先ソレよんやらまかせろさと、源ソレく、そこが由斷、先ハテ何にもいふな人ではないはツ、後ヤ人ではないはと取る、太能か、先ソリヤ何にもいふな人ではないはト、雪隠へお出なさい、ア、臭い、後いまく、しい、とう、雪隠へ、先ヤよわい事、源ドレ、おれが敵を打てやらう、太おれが出る、源マア待ツし、又へばめらが、金銀でもおかつたるい、

〔男重寶記〕將基指南會所

一京婦屋町通二條下ル町

田代市左衛門

一京衣棚三條下ル了頓辻子

いづみ屋吉右衛門

〔改正月令博物筌 八月〕四日 今日將基をさして勝たる者は、年の終まで福あり、負たる者は病に